

「ハザードマップ」

みどり市立笠懸西小学校 二年 中島 碧海

さいきん、テレビで大雨や土しやさいがいのニュースをみることもあり、大へんなんだなと思っていました。

ぼくは、ほかにもどういいうさいがあるのかインターネットでしらべてみることにしました。えいぞうでは、大雨で家がつぶされてしまったり、家の中まで土しやが入ってきてすめなくなってしまうたり、とても大へんなことだと思いました。

ほかにも、さいがい体けんVRというのがあったのでみてみました。雨がふってきてからあつというまに土しやがすごいきおいでぼくのところまでやってきてすごくこわかったです。じっさいにそこにいたらにげられるかしんぱいになりました。

つぎに、ぼうさいVRというのもみてみました。えいぞうに出てくるかぞくは、たい風にそなえてハザードマップというのをかくにんして、ひじょう時のもち出しひんもかくにんしていました。そうすることで、きけんばしよをさけてひなんじよまでぶじににげることができました。

ハザードマップをかくにんしておくことが大じなことだどわかったので、ぼくもおかあさんといっしよにみどりしのハザードマップをかくにんしてみました。ぼくの家のまわりはきけんばしよがほとんどないことがわかりました。近くに大きい川や高い山もないので、ぼくのすんでいるちいきはあんぜんなちいきだと思いました。

しかし、いつさいがあうかわからないので、じゅんぴをしておくことがたいせつだということがわかりました。